

4. 乳臼歯隣接面のう蝕予防について —フッ化ジアミン銀塗布による効果—

○赤司 裕子, 加藤 陽子, 石上 活子,
江島 幸子, 柏木伸一郎
(福岡市・小児歯科柏木医院)

乳歯列完成後, 臼歯部咬合面う蝕に引き続き, 隣接面う蝕が増加してくる。隣接面う蝕の予防法としては, フロッシング・シュガーコントロール・フッ素塗布などが考えられるが, 今一つ臨床的に効果的な方法がない。そこで当院においては, 乳歯う蝕の進行抑制剤として用いられているフッ化ジアミン銀を, 乳臼歯隣接面に塗布することにより, う蝕の予防ならびに進行抑制を行っている。

初診および定期検診時に, 視診・触診でう蝕が認められないものに関しても, できるだけ咬翼法によるX線診査を行い, 隣接面う蝕の早期発見につとめている。このX線フィルムをもとに, 臨床的に修復処置の必要がないと判断したものについて, 臼歯部隣接面へのフロスによるフッ化ジアミン銀塗布を定期的に行っている。

そこで今回, 同処置実施群に関し, 臼歯部隣接面う蝕の進行状況および予防効果について調査したので報告する。